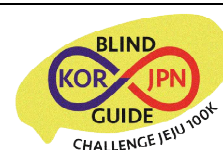


2017年3月1日

ウルトラ・チャレンジャーズ・ネットワーク

視覚障害ランナーを韓日合同チームで伴走サポート 濟州島 100kmレースに挑戦 ～障害を越えて、国や文化を越えて～



2017年3月11日、韓国・濟州島で開催される100kmマラソン大会「濟州島 国際ウルトラマラソン 2017」に、韓日合同ランニングチームが挑戦します。韓国と日本の視覚障害ランナー2名と伴走者2名による計4名がメインランナーとして走ります。彼らを「ウルトラ・チャレンジャーズ・ネットワーク」の伴走ランナーがサポートします。

2人の視覚障害ランナーには、それぞれ国の異なる伴走者がつきま
す（※1ご参照ください）。互いを伴走ロープでつなぎ、苦楽をともにしながら、
障害の壁を越えて、国や文化の壁を越えて、完走を目指します。



西川雅明 宮城好子 張成道

いま、韓日関係はよくありません。しかし両国に暮らす個々の人々の
関係が悪いわけではありません。また、障害をもつ人たちを助け
る方々は沢山いらっしゃいますが、彼ら自身の実力を感じている人達は、
まだそれほど多くありません。

互いの特性が異なるランナーたちが、ひとつの目標に向かうことで、
違いや誤解を乗り越え、一体感を得ることができる—このプロジェクトは、
そんなモデルを提供するのがねらいです。

2年前、本プロジェクトの主体「ウルトラ・チャレンジャーズ・ネットワーク」
では、日韓の視覚障害ランナーをサポートし、ソウルで開催された100km
大会を走りました。今回はその第2回目の取り組みとして、互いの絆をいっ
そう強めたいと考えています。日本から参加する視覚障害ランナーは、
宮城好子。体力に恵まれていると言えないながら、強靱なウルトラマラソン
・ランナーです。

【韓日合同ランニングチーム】（※1）

メインランナー：宮城好子（日本・視覚障害） & イ・ドフィ（韓国・伴走）

ムン・ジョングッ（韓国・視覚障害） & 木村泰子（日本・伴走）、

サポートランナー：西川雅明（日本・伴走）、張成道（日本／韓国・伴走）、吉田雅子（日本・伴走）

【濟州島 国際ウルトラマラソン 2017】

- 主催 KUMF（韓国ウルトラマラソン連盟）
- 日時 2017年3月11日（土）
スタート6時（濟州タプドン公園 Tapdong Park）
ゴール21時（ワールドカップ競技場 World Cup Stadium）
- 距離 100km（制限時間15時間）
<http://eng.kumf.kr/home/gd/2017/guide02.php>
- 参加者 全競技624人（21か国）*2013年実績

【視覚障害ランナー 宮城好子 紹介】

- 生年月日 1962年9月25日生（女性）
- 住所 埼玉県滑川町
- 障害 全盲＋右耳難聴
- 戦績 2016年サロマ湖100km完走（12h27m）
*サロマ湖を4回完走
- その他
J R東海パッセンジャーズ勤務／3人の母親

【ウルトラ・チャレンジャーズ・ネットワーク】

- 任意団体 障害を持ちながらウルトラマラソンやトレイルランに
挑戦するランナーを応援するプロジェクト。
<http://ultra-challengers.com/>

○代表 西川雅明

○実績 2016.11 義足ランナートレラン（神流マウンテン）／2015.11 視覚障害者ウルトラ（KOREA CUP 100km）



Ultra Challengers Network
ウルトラ・チャレンジャーズ・ネットワーク